



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

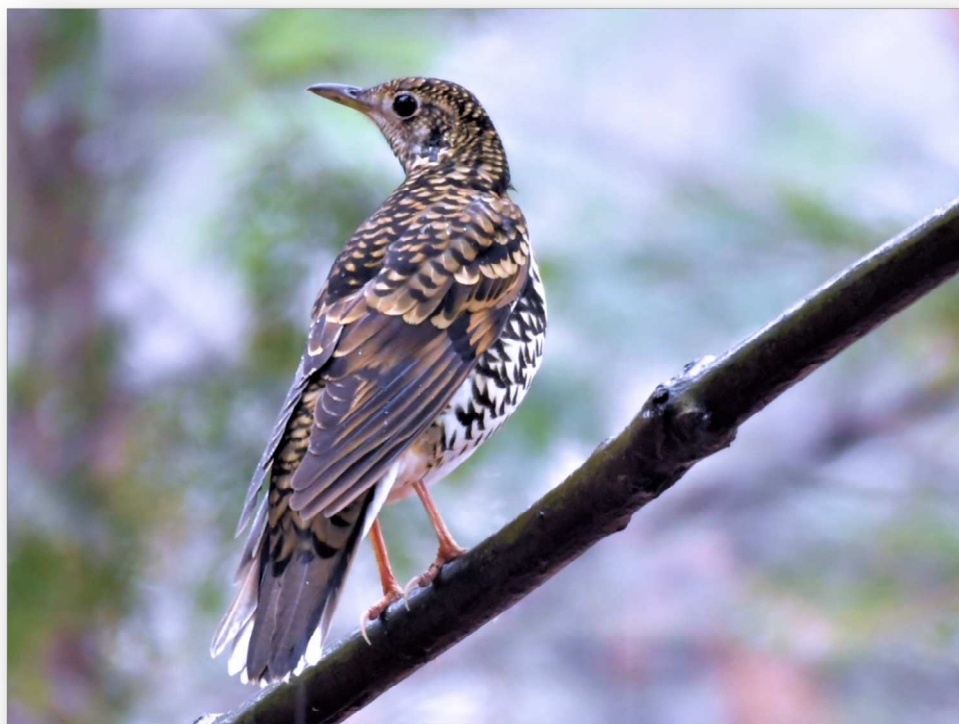
しらこぼと

2022.1-2

No.450

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



『しらこぼと』特集(+α)目録

2017 年 8月号(401号) ～ 2022 年 1-2月号(450号)

『しらこぼと』は 1984 年(昭和 59 年)の 5 月・6 月合併号を創刊号とし、今年の 1-2 月号で 450 号をむかえることができました。ここまでこられたのは会員一人一人の力の結集とご協力があったからで、あらためて感謝申し上げます。過去の目録は下記「しらこぼと」をご覧ください。

創刊号から 200 号 : 200 号 (2000 (平成 12) 年 12 月号)

201 号から 248 号 : 248 号 (2004 (平成 16) 年 12 月号)

249 号から 300 号 : 300 号 (2009 (平成 21) 年 4 月号)

301 号から 400 号 : 400 号 (2017 (平成 29) 年 7 月号)

2017 年 (平成 29 年)

月号	通巻	表紙の写真	特集/+α
8	401	ダイサギ	平成 29 年度 (第 33 回) 総会 / 野鳥記録委員会 ズアカアトリ・シラガホオジロ
9	402	ノビタキ	野鳥情報にはメッシュを！ / 野鳥記録委員会 マダラチュウヒ
10	403	キビタキ	秋葉の森 総合公園 / 野鳥記録委員会 ムラサキサギ
11	404	モリムシクイ	食べて支える<生物多様性> 湘南タゲリ米の里を訪ねて
12	405	マガン	2017 年秋 タカの渡り調査結果

2018 年 (平成 30 年)

月号	通巻	表紙の写真	特集/+α
1	406	ヨシガモ	大麻生探鳥会 350 回を越えて / 野鳥記録委員会 ヨーロッパトウネン
2	407	シジュウカラ	大宮氷川神社 カラスの囀入り
3	408	コミミズクとチ ョウゲンボウ	羽ってすごい！ 羽を集める楽しみ
4	409	オジロビタキ	1 年に 1 回だけ 30 年の記録 さぎ山記念公園周辺探鳥会 / 野鳥記録委員会 クロアシアホウドリ
5	410	コアジサシ	不遇な猛禽の汚名返上
6	411	ヨシゴイ	2018 年冬 カモ科カウント調査結果 / 2018 年春 シギ・チドリ類調査報告
7	412	カワラヒワ	イソヒヨドリの埼玉県内での観察例とその考察
8	413	ムナグロ	平成 30 年度 (第 34 回) 総会報告
9	414	セイタカシギ	松伏総合公園&松伏記念公園及び周辺の野鳥たち / 野鳥記録委員会 カラアカハラ
10	415	アオアシシギ	マイ・フィールド黒浜沼 そして野鳥たち
11	416	ヒヨドリ	落としたのは誰だ！ / 2018 年秋 シギ・チドリ類調査報告
12	417	タゲリ	2018 年秋 タカの渡り調査結果

2019 年 (平成 31 年・令和元年)

月号	通巻	表紙の写真	特集/+α
1	418	コチョウゲンボウ	冬の星空物語と鳥星座 / 2018 年秋 県内各地のシギ・チドリ渡り状況
2	419	コチョウゲンボウとノスリ	さいたま市・鴨川 四季の探鳥散歩 / 野鳥記録委員会 サバクヒタキ
3	420	ハヤブサ	「道の駅 庄和」のツバメ / 野鳥記録委員会 亜種リュウキュウサンショウクイ
4	421	スズメ	「1→0」だけは嫌だ！
5	422	アマサギ	埼玉県から海鳥探鳥へ / 野鳥記録委員会 カワリシロハラミズナギドリ
6	423	ケリ	2019 年冬 カモ科カウント調査結果 / 2019 年春 シギ・チドリ類調査報告 / 野鳥記録委員会 ムジセッカ
7	424	コマドリ	夏の星空物語と鳥星座 / 探鳥会における熱中症対策ガイドラインについて
8	425	ツミ	令和元年度（第 35 回）総会報告 / 野鳥記録委員会 サバンナシトド
9	426	カワセミ	夏水田んぼのシギ・チドリ - 2
10	427	ジョウビタキ	小笠原のすゝめ / 原市の森、原市沼川、下の池調節池 1 の野鳥
11	428	ユリカモメ	令和元年度リーダー研修会を開催しました / 探鳥会におけるリスクマネジメント / 2009 年から 2018 年までの秋のシギ・チドリ類調査結果
12	429	ムギマキ	2019 年秋 タカの渡り調査結果

2020 年 (令和 2 年)

月号	通巻	表紙の写真	特集/+α
1	430	オオハシシギ	日本野鳥の会入会 50 年、おめでとうございます / 鳥インフルエンザと豚コレラの防疫のお願い
2	431	カルガモ	上尾丸山公園鳥見案内 / 2019 年秋 県内各地のシギ・チドリ渡り状況 / 野鳥記録委員会 ヨーロッパトウネン
3	432	メジロ	みんなの手で県内野鳥分布調査を（第 3 回） / 野鳥記録委員会 ハジロコチドリ？
4	433	カイツブリ	さいたま市・民家園周辺定例探鳥会の紹介 / 新型コロナウイルス感染防止のため、2 月 29 日～3 月末、及び、4 月中の全探鳥会を中止
5	434	ツミ	2020 年冬 カモ科カウント調査結果 / 引き続き 5 月中の全探鳥会も中止します / 野鳥記録委員会 マキノセンニュウ
6	435	オオヨシキリ	（続）「1→0」だけは嫌だ！

			/ 6月中の全探鳥会の中止及び総会の延期 / 野鳥記録委員会 オオカラモズ
7	436	イカルチドリ	天上の楽園 池の平湿原（誌上探鳥会） / 7月及び8月の探鳥会も全て中止 / 野鳥記録委員会 ヨーロッパコマドリ
8	437	カワラヒワ	江戸の鳥模様
9	438	オオタカ	コロナ禍の下で探鳥会の再開を目指して / 9月の探鳥会すべて中止・10月の予約探鳥会準備
10	439	ノビタキ	巣ごもり日記 / 10月から完全予約制探鳥会開始
11	440	ツグミ	埼玉の野鳥チェックリスト（中文版）を作成して / 12月も事前予約制の探鳥会を開催
12	441	マミチャジナイ	2020 年秋 会員から寄せられた「タカとシギ・チドリの渡り情報」から / 2020 年秋 シギ・チドリ類調査報告

2021 年（令和 3 年）

月号	通巻	表紙の写真	特集/+α
1	442	オオマシコ	「地鳴き」を聞き分けよう！
2	443	キセキレイ	越谷レイクタウンの昔と今
3	444	ヒクイナ	松伏総合公園&松伏記念公園及び周辺の野鳥たち / 『しらこぼと』は5・6月合併号より年6回の隔月発行
4	445	アオジ	吉川市の探鳥地をご紹介します / さいたまオンライン野鳥フォーラムの案内 / 野鳥記録委員会 キガシラセキレイ
5-6	446	ムナグロ	2021 年冬 カモ科カウント調査結果
7-8	447	ツバメ	石戸宿、いまむかし / 2021 年春 シギ・チドリ類調査報告
9-10	448	チュウサギ	初めての羽標本作り「ヒヨドリ編」
11-12	449	ソリハシセイ タカシギ	2021 年秋 会員から寄せられた「タカとシギ・チドリ類の渡り情報」から / 令和1・2年度決算報告 / 野鳥記録委員会 シロエリオオハム

2022 年（令和 4 年）

月号	通巻	表紙の写真	特集/+α
1-2	450	トラツグミ	『しらこぼと』特集(+α)目録 2017 年 8 月号～2022 年 1-2 月号 / 野鳥記録委員会 コオバシギ

★ささっと、創刊号以来のバックナンバーを見たい

→本会の HP →『しらこぼと』 →『バックナンバー』をクリック

★ささっと、野鳥記録委員会の記事を探したい

→本会の HP →埼玉県野鳥 →『しらこぼと』記事をクリック

2021 年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉 調査部

日 時：2021 年 9 月 20 日 9:30～11:20
場 所：さいたま市 大久保農耕地
天 候：快晴

本州付近は沿海州に中心を持つ高気圧に覆われ、快晴となりました。そのため気温も上がり、夏日となりました。また、非常事態宣言中なので、今回も一般公開を中止にしました。シギ・チドリ類調査を楽しみにしていた皆様には、ご迷惑をおかけ致しました。

As 区はまだ稲刈りが終わっていない田もありましたが、他の区はほぼ稲刈りが終わっていました。また、週末に雨が降ったため田はかなり湿っており、調査にはよい条件でしたが、観察されたシギ・チドリ類は2種5羽（タシギ属不明種は種数に入れない）でした。昨年と比較しても種数で1種、個体数で29

羽少なくなりました。個体数の減少は、タシギとタシギ属不明種の結果によるものです。

<調査結果>

	A 区	B 区	As 区	A'区
ムナグロ	3			
タシギ		1		
タシギ属不明種		1		

下の表は秋の調査結果のうち、最近の 10 年間でまとめたものです。それ以前の記録は「しらこぼと」2012 年 12 月号 (No.344) をご覧ください。

※表の中の「タシギ属不明種」はタシギ以外のタシギ属のため、種数には入れませんでした。
(石井 智)

秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
調 査 日	9/17	9/23	9/15	9/23	9/19	9/18	9/17	9/16	9/21	9/20
天 候	晴れ曇り	曇り	曇り	晴れ	雨	快晴	晴れ		曇り	快晴
1 ムナグロ			17	1	13	5		雨天のため中止	1	3
2 オオジシギ						2				
3 タシギ		21	23	1	44	15	20		11	1
4 オグロシギ		1								
5 アオアシシギ									2	
タシギ属不明種		7	4	6		2	2		20	1
合 計	0	29	44	8	57	24	22		34	5

※2013 年の本調査 (9/16) は台風のため中止したので、参考調査の記録を載せました。

野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●コオバシギ

英名 Red Knot

学名 *Calidris canutus*

分類 チドリ目シギ科オバシギ属



会員の鈴木功さんより、2021年8月29日に観察・撮影したコオバシギ（1羽）の報告が寄せられました。場所は川越市内の休耕田です。発見者はわかりませんが、初認は28日の午前中ということで、31日早朝にも同所で観察されているようです。

写真を見ると、体の上面全体は灰色で、肩羽の羽ごとに、白い羽縁と黒色のサブターミナルバンドがはっきり確認できます。眉斑や過眼線も明瞭で、嘴がまっすぐで黒く短く、足が濃い黄緑色であることにもオバシギとの違いが認められます。これらのことから、当委員会はこの野鳥をコオバシギ幼鳥と同定し、当会の県内鳥類リストに348番目の野鳥として追加することにしました。

鈴木さんの話によると「農道脇の小規模な休耕田に単独でいた。水深の浅い泥地を選んで採餌したり、畔の上で休憩したりしていた。時々、キョッと聞こえる声で鳴いていた」とのことです。

コオバシギは旅鳥として少数が渡来し、主に海辺の干潟などで観察されます。今回のような内陸の休耕田での観察は稀な事例といえるでしょう。

本種は「日米渡り鳥条約」「日露渡り鳥条約」「日豪渡り鳥協定」「日中渡り鳥協定」の指定種です。

開催報告「おひとりさまバードウォッチング」

普及部長 長野誠治

『しらこぼと』2021年5-6月号でご案内しました「おひとりさまバードウォッチング」について報告いたします。

観察期間は2021年6月7日（月）から19日（土）、観察場所は埼玉県内、参加資格は日本野鳥の会会員として実施しました。その結果、7月末までに7名の方から観察報告をいただきました（右ページ下の表参照）。

「梅雨の中休みで風が心地よく1人ではもったいない（浅見さん）」「いつもより丹念に鳥見をする意欲が増した（石川さん）」「久しぶりに楽しい半日を過ごした（長嶋さん）」「コースを数日前から地図と相談、なんとなくワクワク感があった（山部さん）」など、楽しさが伝わる感想が多く寄せられました。

参加時間は3～5時間が多かったのですが、「1日で何種類観察できるかトライした」という岡部さんは、移動を伴いながら何と10時間観察し続けて、この時期としては驚きの47種を確認しました。

箭内さんからは「マイフィールドにあるヨシ原にヨシゴイがいましたが、公園を造成中でこの1年でヨシ原がかなり狭くなってしまい、今の部分は残して欲しい」という環境変化への懸念が寄せられました。

「5年前から毎年この時期に毛呂山町を訪れている」という市原さんからは、鎌北湖のサンコウチョウの観察に加えて、宿谷の滝での「オオルリのオスが眼下の沢をホバリングし頭頂部のエメラルドグリーンのなんと綺麗なこと！」という羨ましい感想が寄せられました。

誌面の関係上詳しくお伝えできないのが残念ですが、いずれもバードウォッチングの楽しさが伝わってくる報告・感想でした。

今後も多くの会員の皆様に参加していただけるよう実施時期や方法を工夫して開催していきたいと考えています。

新年のご挨拶を申し上げます

日本野鳥の会埼玉 代表 山部直喜

旧年中は、少しずつ探鳥会を実施できるようになりました。参加された会員の弾んだ声も聞こえてきました。

また、新年号では 450 号を重ねることができました。会員数も前月比+5 とうれしい知らせも入ってきました。会員お一人お一人に感謝するとともに光明が見えて来た思いです。

しかし、新型コロナウイルスの新しい変異株が現れました。戻りつつある日常が夢にならないよう今年も慎重に生活していかなければならないことには変わりはないようです。

そして、前に進むためには次世代の新しい力が必要です。例えば、探鳥会運営への参加、夏鳥冬鳥調査活動への協力、地域の観察記録の投稿、各部そして委員会運営への参加、またそれができる方々の紹介等々です。

会員の皆様にとって、2022 年が素晴らしい年になるよう心よりお祈り申し上げます。



アカショウビンの落鳥記録を機会に

川内 博(和光市)

アカショウビンの落鳥（交通事故死と思われる）を記録しました。

写真を添えて報告します。

確認日：2021 年 8 月 31 日午前 7 時 50 分

場所：埼玉県和光市新倉 6 丁目水道道路歩道

北緯 35 度 48 分・東経 139 度 37 分

状況：死後数日経っていて腹部に蛆が大量にいた。

現在、和光市の鳥類目録を作成しています。もし和光市内でのアカショウビンの記録が過去にありましたらお教えください。

また、その後は隣接する地域（朝霞市・志木市・新座市）に情報網を広げる予定です。この地域での興味ある野鳥や都市鳥の情報をお寄せください。この一帯は、荒川より南に位置し、東京都の板橋区や練馬区、西東京市、東久留市、清瀬市などと接していて、比較的似た環境です。

これまで、あまり『しらこぼと』には登場していない地域ですので、これを機会に発信していきたいと思います。

E-mail：hkawachi2dream@yahoo.co.jp

電話・Fax：048-462-7141＜留守録対応＞

「おひとりさまバードウォッチング」観察報告

参加者氏名	観察日時	観察場所	観察種数	番外
浅見 徹 (さいたま市)	6/18金 9:00~11:30	さいたま市 三宅地区	20	
石川敏男 (春日部市)	6/8火 6:15~7:45	春日部市 谷原親水広場他	20	
市原あゆみ (川口市)	6/12土 9:00~11:30	毛呂山町 鎌北湖、宿谷の滝	17	
岡部 悟 (川越市)	6/11金 7:00~16:00	川越市、鶴ヶ島市、 坂戸市、川島町	47	
長嶋宏之 (蓮田市)	6/18金 9:30~12:30	吉見町 吉見総合運動公園	24	1
箭内伸子 (春日部市)	6/12土 5:40~10:30	春日部市 下大増新田、 谷原新田等	28	
山部直喜 (三郷市)	6/17木 8:30~12:15	春日部市 西宝珠花	29	1





野鳥情報

滑川町 武蔵丘陵森林公園 ◇3月22日、エナガ、カワラヒワ、シジュウカラ、アオジ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コジュケイ、ウグイス、コゲラ、モズ、シメ、スズメ、ツグミ、ダイサギ、アオサギ、ミヤマホオジロ、ヤマガラ、シロハラ、ヒヨドリ、カイツブリ、メジロ、カワセミ、カワウ、コガモ、マガモ、ジョウビタキ、アカゲラ、オシドリ♀、ヒドリガモ、カルガモ、キジバト、ヒガラ、カケス、ムクドリ、コサメビタキ23、ガビチョウ（村越百合子）。

寄居町 鐘撞堂山 ◇3月28日、寄居駅～大正池～鐘撞堂山～八幡山～八幡神社～桜沢駅でスズメ、ムクドリ、ツバメ 12、シジュウカラ、カワラヒワ、ツグミ、メジロ、オナガ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ウグイス、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コゲラ、ヒヨドリ、アオサギ、カイツブリ、シメ、カケス、イカル、エナガ、ヤマドリ、トビ、オオタカ（村越百合子）。

さいたま市岩槻区樹 ◇4月27日、ところどころの田んぼに水が入り、田植えの準備が始まっていた。畔に番いのカルガモがチュウシャクシギ（下写真）と休んでいた。耕うん機の傍でダイサギが作業の終わるのを待っていた。ムナグロを探したが、いなかった。カルガモ4、ダイサギ1、チュウサギ1、チュウシャクシギ1、モズ1、ハシボソガラス10±、ムクドリ3、ツグミ5など（長嶋宏之）。◇5月3日、ムナグロ20



十、コチドリ2（鈴木紀雄）。

北本市 北本自然観察公園 ◇4月28日、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シメ、スズメ、モズ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ムクドリ、シジュウカラ、ツバメ、キジバト、キジ、メジロ、コゲラ、エナガ、カケス、ウグイス、ヒヨドリ、カワセミ、カワラヒワ、アオジ、カイツブリ、カルガモ、バン、マガモ、アオサギ成鳥1、幼鳥1、コサギ2、ダイサギ3、コガモ20、コジュケイ4、ツグミ、ガビチョウ4。5月4日、キビタキが薄暗い竹林帯で鳴いていた今季初。エナガ幼鳥6確認、顔に未だこげ茶色部分が多くクリクリした目が印象的だった（村越百合子）。

所沢市上山口 堀口天満神社周辺里山保全地域 ◇4月29日、ヤブサメ初認。5月1日、センダンムシクイ初認。ヤブサメは前日に続き良く囀っていた。5月23日、ホトトギス初認（小林 茂・ますみ）。

蓮田市笹山 ◇4月29日、ムナグロ11の飛翔、近くに降りず、西へ飛び去った（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区横根 ◇4月30日、ムナグロ♂2♀2。5月7日、ムナグロ19、コチドリ4、チュウサギ夏羽1など。5月10日、ムナグロ17、久々のアマサギ夏羽1、鮮やかな朱色（鈴木紀雄）。

飯能市 名栗湖畔 ◇5月1日、イワツバメ10+が湖面を飛び交う。橋下に集団営巣している模様。キセキレイ、ウグイス、キビタキ、オオヨシキリ、アオゲラ。ツツドリの声響く（鈴木紀雄）。

小鹿野町河原沢（尾ノ内溪谷） ◇5月1日、谷間からキビタキ、オオルリ、ミソサザイ、クロツグミなどの声響き渡る（鈴木紀雄）。

小鹿野町藤倉（林道西秩父線） ◇5月1日、林道脇から木に飛びあがったクロツグミ♂1、黄色い嘴が目立つ（鈴木紀雄）。

さいたま市西区 宝来運動場周辺 ◇5月2日、カルガモ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、キジ、キジバト、ツミ、ホオジロ、キビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ムクドリ、ヒヨドリ、ヒバリ、カワラヒワ、ウグイス、コサギ、アオ

サギ、ダイサギ、コチドリ、モズ、ベニマシコ、メジロ、コジュケイ、ガビチョウ、上空にカワウ、ヨシ原ではオオヨシキリ、コヨシキリの声、あちこちで囀っていた(村越百合子)。

草加市柿木町 ◇5月2日、ムナグロ61、チュウシャクシギ1、ヤブサメ1、センダイムシクイ♂1、キビタキ♂1、クロジ♂2♀1。5月3日、サンショウクイ♀1、エゾムシクイ♂1、センダイムシクイ♂1、キビタキ♂2。5月4日、アマサギ1、ムナグロ45、タシギ2、チュウシャクシギ1、キアシシギ11、ツミ♂1、エゾムシクイ♂2、センダイムシクイ♂3、キビタキ♂3、ビンズイ2、クロジ5+。5月9日、アジサシ1。5月14日、ケリ1、ムナグロ4、チュウシャクシギ1、キビタキ♂1(囀り)(鈴木 功)。

越谷市 越谷レイクタウン ◇5月2日、エゾムシクイ♂1、イソヒヨドリ♂1。5月19日、イソヒヨドリ♂1(鈴木 功)。

川越市石田本郷 ◇5月3日、田んぼでムナグロ50+、ウズラシギ1、チュウシャクシギ1(鈴木 功)。

川越市 伊佐沼 ◇5月3日、北側の田んぼでムナグロ5、オジロトウネン夏羽1、クサシギ1、イソシギ1、タシギ5。5月5日、ムナグロ10、オオハシシギ3、オジロトウネン夏羽1、イソシギ1、タシギ5。(鈴木 功)。◇5月6日、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、チュウシャクシギ、コアジサシ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイなど(嶋田富夫)。

松伏町 松伏記念公園 ◇5月4日、公園内のバスターミナル近くでサンコウチョウ♂1(さえずりも)、キビタキ♂1、オオルリ、センダイムシクイ、エゾビタキ?上記全て一か所にいました。混群?(尾上愛実)。

さいたま市岩槻区太田町 ◇5月4日、センダイムシクイが「チヨチヨチヨチヨ〜ビィ〜」と鳴きながら梅の木の枝をチョロチョロ動く(鈴木紀雄)。

所沢市山口 ◇5月5日、自宅近くの遊歩道、電線にツミとオナガがとまっており、その後、ツミをオナガが追いかけて行った。

5月6日、キビタキ初認。5月26日、ホトトギス初認(小林 茂・ますみ)。

さいたま市西区西遊馬(53396485) ◇5月5日、カルガモ、キジバト、アカガシラサギ、アオサギ、ダイサギ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイなど(嶋田富夫)。

さいたま市桜区下大久保 ◇5月7日午前9時50分、夏羽に換羽中のアカガシラサギ1、ムナグロ30(海老原美夫)。

上尾市地頭方 ◇5月7日早朝、鳥の囀りが聞こえ目を覚ます。近くの神社でカッコウ、キビタキが鳴いていた(村越百合子)。

さいたま市西区島根、三条町 ◇5月8日、水田に立つチュウサギ1は、胸と背にレースの如く繊細な長いみの羽を纏い、ファッションモデルのよう。この美しい装いで求愛シーンを見てみたい。チュウサギはカエルを捕まえて即丸呑み。近くのダイサギ1もカエルを捕まえ、水に浸してから徐々に呑み込んだ。4日前に見かけたカエルを洗う?サギと同一個体かもしれない。カモらしき獲物を下げたオオタカ1が北上。草原の上でセッカ3が鳴きながら追いつ追われつ飛び回る(縄張り争い?)。農道にアカガシラサギの出現を待つカメラマンたちが並び、10分程でヨシ原から飛び立つ1羽を確認できた。他にムナグロ40+、カルガモ15など(大塚純子)。

さいたま市西区島根(53366466) ◇5月8日、田んぼでキジ、カルガモ、キジバト、アカガシラサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ムナグロ、キアシシギ、タマシギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイなど(嶋田富夫)。

さいたま市緑区南部領辻 トラスト1号地周辺 ◇5月9日、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ホオジロ、ヒヨドリ、ムクドリ、エナガ、スズメ、カワラヒワ、

ウグイス、キジ、コゲラ、メジロ、ヤマガラ、カルガモ、キジバト、カワセミ、ツバメ、ダイサギ。突然にぎやかな音が聞こえ、振り向くとツミに追走されるカオグロガビチョウが「ビュビュビュビュ」と逃げいくところを目撃。上手く逃げ切れたようだ(村越百合子)。

加須市北川辺 ◇5月9日、田んぼでムナグロ17、サルハマシギ夏羽1(下写真)。5月15日、ケリ3、キアシシギ8(鈴木 功)。



さいたま市中央区 与野公園 ◇5月10日、弁天池近くでシジュウカラ親子。活発に枝移りする薄黄色と灰色の幼鳥4+に親鳥たちが餌を運んで来て与えていた(大塚純子)。

飯能市 天覧山～多峯主山 ◇5月11日、ノスリ、トビ、ヒヨドリ、スズメ、ガビチョウ、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、キジバト、コゲラ、アカゲラ、コジュケイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、アオゲラ、ハクセキレイ、オナガ、キビタキ、ツバメ、オオルリ、サンコウチョウ。「ヒンカラカラ」の声も聞こえ、探してみるも隠れ上手のコマドリの姿は確認出来なかった(村越百合子)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園 ◇5月12日、ヒクイナがよく鳴いている。キビタキ、オオヨシキリも(鈴木紀雄)。

上尾市平方(53397433) ◇5月14日午前7時過ぎ、開平橋南の荒川左岸にある林でアカハラがさえずっていた。(森本國夫)。

さいたま市南区 ◇5月14日、さいたま市南区鹿手袋5丁目でイソヒヨドリ♂1、植え込みの中からアオムシを捕らえて飛んだ。南区で初めて見たので驚いた(海老原教子)。

桶川市若宮 ◇5月15日午前8時、カッコウが今年もやって来ました。自宅屋上のアンテナに大きな声で「カッコウ カッコウ」。桶川によくぞ毎年やってきます、去年は5月13日でした。どこの国からやってくるのか同じ個体なのか知りたい。毎朝カッコウの声で起こされます(立岩恒久)。

上尾市地頭方～平方領領家 ◇5月15日、去年は6月末から始まった河川敷工事の影響で1羽のみだったが、今年は少し増えたオオヨシキリの声が聞けた(村越百合子)。

さいたま市桜区白鵜、中央区円阿弥4丁目

◇5月15日、民家の戸袋などでムクドリが営巢中(3軒)。親が戻る度にヒナたちが鳴く。住宅街ではスズメのヒナが「ショリショリ」鳴く声もしばしば耳にする(大塚純子)。

蓮田市 蓮田駅西口広場&東口ロータリー

◇5月18日午前6時50分頃、J R蓮田駅西口の交差点の歩道の横、1m位の所でイソヒヨドリが路面に降り、虫の様なものをくわえていた。すぐ横を駅に向かう人が何人も通っていたのですが…。6月18日、蓮田駅東口のロータリーの除草作業をしている軽トラックの周りにいた。人に慣れて居るのかもしれない(細田敦史)。

さいたま市桜区白鵜 ◇5月19日、白鵜電建調整池沿いの古い空き家の南北2つの戸袋でムクドリが営巢。親鳥たちは交互に餌を運び、近くの電線に止まって安全確認の後、素早く巣穴に運び込む。また、白鵜の住宅街を500m程歩く間に、民家の屋根部分での営巢5ヶ所+ (瓦の隙間が出入口)。秋冬の毎夕刻に天空を騒がす数百羽のムクドリたちの出自が少しだけ見えた気がした。(大塚純子)。

春日部市谷原新田 ◇5月22日、ウィングハット近くの臨時駐車場で約10巢のコアジサシ集団営巢。抱卵中の様子(鈴木紀雄)。

表紙の写真

ヒタキ科トラツグミ属トラツグミ

昨年1月23日、川越市内の静かな冬の雑木林。嬉しい出会いだった。

鈴木 功(草加市)



3～4月に開催予定の日帰り探鳥会と、5月宿泊探鳥会などのご案内です。探鳥会は全て事前予約制です。

【事前予約制探鳥会の開催要項】

1. 日本野鳥の会会員限定の先着順（ただし、埼玉会員優先）とする。
2. **申し込みは、当会のホームページからと**する（特記の探鳥会以外は原則として開催日の4週間前から、ホームページで受け付けを開始します）。
予約なしでの参加はご遠慮ください。
3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」（最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます）に沿って実施する。
4. **必須条件：**マスクなどの飛沫防止策（ご用意のない方は参加をご遠慮ください）。
5. 筆記用具や観察用具（双眼鏡等）は、各自で用意する。
6. 万一、探鳥会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
7. 新型コロナウイルスの感染拡大が続いている場合は、**探鳥会を中止する事があります。**
最新情報をホームページで確認してから参加してください。

千葉県銚子市・銚子漁港探鳥会

期日：3月5日（土） 要予約

集合：午前7時、東武春日部駅東口。

解散：午後7時ころ、東武春日部駅東口。

交通：往復貸切バス（中型）を利用。

担当：入山、近藤、佐野、藤澤

費用：10,000円（バス代、昼食代等）過不足の場合は当日清算。

定員：23名（最少催行人数16名）

見どころ：カモメはダメという人でも大丈夫！
図鑑片手に識別の勉強をしましょう。昼食は、
地魚料理を堪能します。

その他：昼食付です。雨天決行。参加者には後日、案内を発送します。

さいたま市・見沼自然公園 ビギナー探鳥会

期日：3月5日（土） 要予約

集合：午前9時、見沼自然公園駐車場公衆トイレ付近。

解散：正午ころ、集合場所で。

交通：JR大宮駅東口⑦番バス乗り場8:20発「浦和学院高校」行きで「締切橋」下車。バス停からご案内します。

募集人数：15名

担当：大井、浅見（健）、市原、小林（み）、野口
見どころ：ビギナー、親子向けの探鳥会。三脚を担ぎ、大きなカメラを首に掛けた集団に気後れしているあなたが主役。春です旅立ち前のカモ類、身近な小鳥達をゆっくり観察しましょう。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月5日（土） 要予約

集合：午前9時30分、寄居駅南口駅前広場。

解散：正午ころ、集合場所で。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:00 発、または東武東上線 川越 8:11 発→小川町乗り継ぎで寄居下車。

募集人数：15名

担当：茂木、井上、今村

見どころ：自然豊かな町中から河原まで、梅の香りがいっぱいです。春爛漫の荒川沿いでは、たくさんの小鳥たちのさえずりと花々が歓迎してくれます。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：3月17日（木）平日 要予約

集合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。

解散：正午ころ集合地で。

交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート（ムジナもん号）を利用、東武伊勢崎線羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。

募集人数：20名

担当：相原(修)、相原(友)、新井、長嶋、茂木
共催：羽生水郷公園管理事務所

見どころ：平日の静かな公園でオオジュリンや
ヨシガモなどの冬鳥を探します。池のアオサ
ギは巣作りを始めたでしょうか、アリスイに
も期待です。

注意：帰りのバスは14:50発です。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月20日(日) 要予約

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武
バス「さいたま市立病院行」8:21発で終点下
車。

募集人数：20名

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：青木、浅見(健)、浅見(徹)、小林(み)、
須崎、畠山

見どころ：芝川でカモ類、農耕地でホオジロ類
を探します。カワセミ、キジ、オオタカ、チ
ョウゲンボウにも会えるかな。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月21日(月・祝) 要予約

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。

解散：正午ごろに集合地で。

交通：東武伊勢崎線 北越谷駅東口①番バス乗り
場から茨急バス・エローラ行き 9:00 発で「松
伏高校前」下車。または武蔵野線 吉川駅北
口③番バス乗り場から茨急バス・エローラ行
き 8:40 発で「松伏高校前」下車。

共催：松伏町中央公民館

募集人数：当会会員15名、共催団体募集5名。

担当：山部、石川(光)、佐野、橋口

見どころ：公園では池の上をツバメが飛び、田
んぼではヒバリが元気です。鉄塔に猛禽が止
まっていると盛り上がります。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：3月26日(土) 要予約

集合：午前8時45分、中央エントランス駐車場。

解散：正午ごろ、谷中村史跡ゾーンで。

交通：東武線南栗橋行 新越谷 7:23→春日部
7:38→南栗橋 7:55 で東武日光線に乗り換え
柳生 8:10 着。または JR 宇都宮線下り大宮
7:27→栗橋 7:55 で東武日光線に乗り換え 柳
生 8:10 着。

募集人数：20名

担当：佐野、浅見(徹)、小林(み)、佐藤(宏)、野口

見どころ：ヨシ焼きの終わった遊水地で、繁殖
地へ向かう冬鳥を見送ります。

ご注意：柳生駅からの案内はありません。遊水
地への標識に従ってお越しください。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月27日(日) 要予約

集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。

解散：正午ごろ、稲荷山公園で。

交通：西武新宿線 本川越 8:43 発、または所沢
8:41 発に乗車。

募集人数：20名

担当：長谷部、佐藤(久)、星、山口、山本(真)

見どころ：ツバメとコチドリを探しながら河原
を歩きます。そして、稲荷山公園横の小さな
カタクリ自生地を通るコースです。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月3日(日) 要予約

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センタ
ー玄関前広場。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学メ
ディカルセンター行き」バス 8:38 発で「自
然観察公園前」下車。

募集人数：20名

担当：吉原(俊)、相原(修)、秋葉、浅見(徹)、
近藤、千葉、吉原(早)

見どころ：桜の花と彩り鮮やかになったアオジ
やベニマシコに会いに来ませんか。

東京都・裏高尾植物観察会

期日：4月9日(土) 要予約

集合：午前10時、高尾駅北口改札。

解散：午後2時半ごろ、現地(日影バス停付近)
にて。

交通：JR 中央線特快・高尾行 新宿 8:54 発→高

尾 9:37 着。

募集人数：15 名

担当：小林(み)、青山(美)、工藤、藤田

見どころ：数種類のスミレ類始め、艶やかな花、
清楚な花。裏高尾の花街道をのんびり歩きながら、
あなたのお気に入りの花を見つけましょう。

ご注意：軽登山靴など長時間の歩行向きの靴でお出かけください。鳥の観察はほとんどしませんので、スコープ・三脚・大型カメラはご遠慮ください。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月16日(土) 要予約

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナス行き 8:41 発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。

募集人数：20 名

担当：石川(敏)、青山(美)、佐藤(宏)、佐野、長野、橋口

見どころ：雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林などを巡ります。冬鳥と夏鳥の交代する季節にどんな鳥との出会いがあるでしょうか。皆で探してみましよう。(コース中にトイレ有り)

帰りのバス：春日部駅西口行バス停発 13:07、14:47(12月現在の時刻表による)

さいたま市・三室地区 ビギナー探鳥会

期日：4月17日(日) 要予約

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院行」8:21 発で終点下車。

募集人数：15 名

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、浅見(健)、浅見(徹)、須崎、畠山

見どころ：今月は、ビギナー向けの少人数での探鳥会です。芝川と周りの農耕地で身近な野

鳥を観察します。

栃木県・小倉山森林公園探鳥会 要予約

期日：4月23日(土) または 29日(金・祝)
※4/9(土)に現地の状況を下見して、どちらかに決めHP上でお知らせします。

集合：午前8時30分、東武日光駅前。集合後徒歩で現地へ。※JR 日光駅ではありません。車での参加者には、駐車場・集合時間(早くなります)を後日メール連絡します。

交通：①特急リバティけごん1号・東武日光行き 春日部 7:03 発→東武日光 8:23 着。または、②JR 宇都宮線 宇都宮行 大宮 6:12 発→栗橋 6:41 着→東武日光線急行・東武日光行き 栗橋 7:06 発→東武日光 8:17 着。

解散：昼食後に現地で。

募集人数：10 名

申し込み：当会HPで4月11日から受付開始。

担当：青木、市原、佐野、長野

見どころ：今年もやります、オオルリ探鳥会。まだオオルリに会ったことのない方、お待ちしています。最低でも、声だけは聞けるでしょう。

ご注意：今年はギリギリまで渡りの状況や葉の茂り具合を見て、ベストの日を選んで決行します。判断は、メインリーダーにお任せください。HPで開催日を確認の上でご応募願います。

北本市・石戸宿臨時探鳥会

期日：4月24日(日) 要予約

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター一玄関前広場。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

募集人数：20 名

担当：吉原(俊)、相原(修)、秋葉、浅見(徹)、近藤、千葉、吉原(早)

見どころ：渡って来たばかりの夏鳥を探して耳を澄まして公園内を散策します。オオルリ、キビタキ、ムシクイ類など。

さいたま市・大宮第二公園探鳥会

期日：4月29日(金・祝) 早朝 要予約



行事報告

10月23～24日（土～日） 長野県 戸隠高原
参加：15(会員15)名 天気：23=曇時々雨、24=晴

キジ オシドリ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ
カルガモ ホシハジロ カイツブリ キジバト
アオバト オオバン トビ コゲラ アカゲラ
アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシ
ブトガラス コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュ
ウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ
ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ マミチャ
ジナイ アカハラ ジョウビタキ ムギマキ ス
ズメ アトリ カワラヒワ イカル ホオジロ
カシラダカ アオジ (41種+セキレイ科不明種1)
昨年秋と同様に良いタイミングで開催できた。1
日目はみぞれ混じりの雨天だったが、早々とムギ
マキが観察でき、午後にはマミチャジナイも見ら
れたので、リーダーとしては気分的には楽になっ
た。2日目は好天に恵まれ、朝の宿周辺の探鳥で
は、雪化粧の戸隠山を初めて見られた。初日に行
けなかった鏡池では、オシドリやヒドリガモを、
隋神門付近ではマミチャジナイを近距離でじっく
りと観察できた。 (菱沼一充)

11月4日（木） 羽生市 羽生水郷公園
参加：25(会員23)名 天気：晴

ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ コガ
モ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ
アオサギ ダイサギ コサギ クイナ バン オ
オバン トビ オオタカ ノスリ カワセミ コ
ゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス
ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグ
イス メジロ ジョウビタキ スズメ ハクセキ
レイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ
ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン
(38種) 久しぶりの探鳥会で開始前から参加の
皆さんも話が弾む。名物のヨシガモもエクリプス
から繁殖羽までの変化する姿が見られた。小鳥は
ジョウビタキ、カシラダカ、オオジュリンなどが
現れ、上空にはチョウゲンボウ、ノスリ、オオタ
カが舞う。探鳥会を満喫した。 (相原修一)

11月6日（土） 上尾市 丸山公園
参加：25(会員25)名 天気：快晴

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト
カワウ アオサギ ダイサギ オオバン トビ
ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラ
ス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒ
ヨドリ ウグイス エナガ メジロ ツグミ ジ
ョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ カシラ
ダカ アオジ (32種) 久しぶりの開催に喜びも
ひとしお。大池にはマガモ、カイツブリ等の水鳥、
数多く、到来したての冬鳥ツグミ、ジョウビタキ、
アオジと続き、まずは順調。セキレイ類は、今回
も3種揃い踏み。エナガの群れに会い、土手の上
で、ノスリに直面して、最後は2班合同の鳥合わ
せで終了。皆さんニコニコ顔。 (近藤龍哉)

11月13日（土） 春日部市 内牧公園
参加：27(会員27)名 天気：快晴

コジュケイ キジバト アオサギ オオタカ コ
ゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ス
ズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ
カワラヒワ (17種) 久々の探鳥会。探鳥日とで
ツグミ、シメなど冬鳥を期待したが、唯一、タヒ
バリが飛び回っていたくらい。他方、熟柿に群が
り啄むメジロや青空に舞うオオタカに癒された晩
秋の内牧だった。 (石川敏男)

11月14日（日） さいたま市 大宮第二公園
参加：35(会員29)名 天気：晴

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ
ハシビロガモ コガモ カイツブリ キジバト
ダイサギ オオバン オオタカ カワセミ コゲ
ラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シ
ジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジ
ロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ キセキレ
イ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ
ホオジロ (29種) (番外：ドバト) 大宮第二公園
管理事務所との共催。大宮第二公園と第三公園を
巡ってカモ類や冬の小鳥類を探した。カモ6種類
とジョウビタキなどの冬鳥がそろった。圧巻は芝
川の水辺のヨシ原から突然飛び立ったオオタカ！
沢山のカモが岸辺の草むらから飛出し、大騒ぎ。
狩りは失敗だったが、迫力満点。 (浅見 徹)



連絡帳

●令和3年度連携団体全国総会開催

2021 年 11 月 14 日 (日) オンラインで開催されました。

当会の山部直喜代表を含めて全国 38 支部から 45 名、当会副代表の小林みどり評議員を含め財団役員 8 名、事務局 21 名が参加しました。

10:00 事務局からの連絡で始まり、10:05 上田恵介会長の挨拶 (ビデオメッセージ)、遠藤孝一理事長の開会宣言に続き、連携団体からのアンケート結果、コロナ禍の探鳥会運営について、探鳥会以外のコロナ禍の支部運営について、意見交換、事例紹介が続きました。

昼食休憩後は、財団事務局自然保護室から、①風力発電アセスの規模要件緩和、②eBird、③海洋プラスチックについて、同普及室から、①「ツバメの子育て応援事業」への協力お願い、②探鳥会のリスクマネジメント、③「野鳥観察・撮影のマナーガイドライン」の提案等が示され、総括の後、午後 4 時頃閉会しました。

●会員数は

1 月 5 日現在 1,471 人です。

なお、財団本部が発行している支部ネット通信 2021 年 11 月号通巻 238 号によれば、当会の会員数 11 月 1 日現在の前月比+5 人は、同数の奈良支部と並ぶ、全国 1 位の数字でした。

活動報告

2021 年 11 月 8 日 (月)、『しらこぼと』11-12 月合併号入稿。

11 月 12 日 (金)、11-12 月合併号埼玉事務局発送分納品。『野鳥』誌と同封発送しない会員に向けて袋詰め作業後、浦和中郵便局から発送 (海老原教子、海老原美夫、山部直喜)。

12 月 22 日 (水)-24 日 (金)、メール交換による役員会を開催。長野誠治普及部長上程の【議案第 1 号】2022 年 3-4 月行事予定と、小林副代表上程の【議案第 2 号】オンライン役員会テスト開催を承認した。

編集後記

新年も新型コロナウイルスと縁の切れない 1 年になりそうだ。気を引き締めて過ごしたい。ここのところは、野鳥分布調査で県の北部地域に出かけることが多い。先日は、久しく見ていなかったアメリカヒドリに思いがけない所で遭遇。全く交雑している感じのないきれいなオスであった。たまには、いいこともあるものだ。(森本)

7 月、キジの若鳥を見つけた。8 月、空飛ぶアマツバメを撮影した。9 月、サンバ幼鳥に出会った。10 月、ノビタキを堪能した。11 月、30 羽ほどのタゲリに何日か通った。12 月、なんとコサメビタキがいた。昨年後半も、健康維持を兼ねた自転車行動範囲内で楽しめた。(海)

しらこぼと 2022 年 1・2 月合併号 (第 450 号) 定価 200 円 (会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26

番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル (公財) 日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。

印刷 関東図書株式会社